

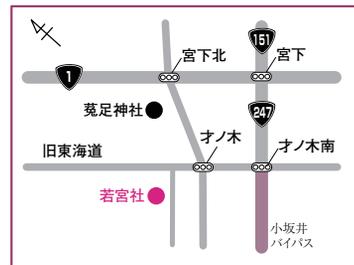


とよかわの

みつけた!



## 若宮社の大イチョウ



小坂井町の菟足神社の西にある若宮社は、菟足神社の祭礼の時に神輿渡御のお旅所となる所です。永禄元（1558）年に創立された若宮社にはイチョウの巨木があり、創立の際に植えられたとすれば、樹齢は約450年となります。

このイチョウの枝の下には、たくさんのごぶがあります。これらは気根といわれるもので、通常、地中で発達する根が、地上に出たものです。その形状は人間の乳房に似ており、機能は酸素の取り入れや水の吸収など多岐にわたります。この大イチョウにまつわる昔話があるのをご存知でしょうか。

その昔、ごぶの形状にあやかり、子どもを産んでもお乳の出ない女性が、布で乳房の形を作り、イチョウの枝につり下げてお参りをしたそうです。そして、何度かお参りをするとお乳が出るようになり、もう一つつるしてお礼のお参りをしたそうです。また、胸の病気を患った女性もイチョウに祈願をしていたそうです。菟足神社へお参りの際には、若宮社に寄ってみてはいかがでしょうか。

